2026年12月期　第３四半期決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月11日

上場会社名　株式会社ブロードリーフ　　上場取引所　東
コード番号　3673　ＵＲＬ　https://www.broadleaf.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）大山　堅司
問合せ先責任者　（役職名）取締役副社長　（氏名）山中　健一　ＴＥＬ　03-5781-3100

配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	16,297	7.0	2,344	57.1	2,239	72.1	1,454	70.0	1,481	69.8	1,522	71.4
2025年12月期第３四半期	15,231	17.5	1,492	418.3	1,301	344.0	855	459.7	872	442.5	888	297.1

	基本的１株当たり四半期利益	希薄化後１株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	8.19	8.01
2025年12月期第３四半期	4.86	4.74

（注）当社は、2026年７月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的１株当たり四半期利益及び希薄化後１株当たり四半期利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	43,499	25,076	25,082	57.7
2025年12月期	41,425	24,293	24,271	58.6

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	2.50	－	3.50	6.00
2026年12月期	－	7.50	－		
2026年12月期（予想）				4.00	－

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
２．当社は、2026年７月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。2026年12月期（予想）の１株当たり期末配当金は株式分割考慮後の金額を記載しております。2026年12月期（予想）の１株当たり年間配当金合計は、株式分割の実施により、第２四半期末配当金と期末配当金との単純合算ができないため記載しておりません。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年12月期（予想）の１株当たり期末配当金は8.00円、年間配当金合計は15.50円となります。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	8.1	3,500	69.7	3,400	83.4	2,300	85.4	12.71

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
２．当社は、2026年７月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。2026年12月期の連結業績予想における通期の基本的１株当たり当期利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	195,793,600株	2025年12月期	195,793,600株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	14,607,542株	2025年12月期	15,609,582株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	180,937,919株	2025年12月期３Ｑ	179,705,708株

（注）当社は、2026年７月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2026年11月11日（水）に機関投資家・アナリスト向けにオンラインライブ形式で説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）要約四半期連結財政状態計算書 …… 4
（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）要約四半期連結持分変動計算書 …… 7
（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（セグメント情報） …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日～2026年９月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復が続きました。一方で、中東情勢や自然災害の影響に加え、円安、物価高や金利上昇の影響を引き続き注視する必要があり、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが属する国内情報サービス産業では、企業によるDX（デジタルトランスフォーメーション）への需要が継続しています。慢性的な人手不足への対応や生産性の向上を目的とした業務の自動化に加え、競争力の強化や新たなビジネス機会の創出に向けたAI・データの活用など、デジタル技術による経営課題の解決が引き続き求められています。

こうした環境のもと、当社グループは「モビリティ産業を支えるデジタルインフラ企業」として、お客様の生産性向上や業務効率化につながる付加価値の提供に取り組んでいます。具体的には、大手のお客様を中心にクラウドソフトの導入加速を図り、お客様企業間の情報共有や取引連携を通じて、お客様のDXを支援しています。また、従来からのセキュリティ対策を継続しつつ、第３四半期からは、サービスの安全性・安定性を一層高めるため、IT基盤の更新やアプリケーションの改良への投資を強化しています。

これらの取り組みにより、当第３四半期連結累計期間のクラウドサービス売上は、クラウドソフトのお客様数増加に伴い前年同期比26.8%の増加となりました。一方、パッケージソフトをご利用のお客様によるクラウドソフトへの切り替えが進んでいることから、パッケージシステム売上は同16.4%の減少となりました。また、前年同期に見られたパソコン等の買い替え特需の反動もあり、その他売上は同19.3%の減少となりました。なお、お客様によるクラウドソフトへの切り替えは、クラウドサービス売上とパッケージシステム売上の構成比を変化させるものの、全体売上にとって増加要因となっています。この増収要因は、クラウドソフトへの計画的な切り替えが完了するまで継続する見込みです。

また、生成AIを営業活動や開発・管理業務に積極的に取り入れ、業務プロセスの改善を通じてコストの最適化を図りました。並行して、お客様の円滑なクラウド移行を支える営業・サポート活動を充実させるとともに、セキュリティ強化に必要なミドルウェア等のIT基盤の更新やアプリケーションの改良を進めました。これらの取り組みなどにより販売費及び一般管理費は前年同期比で増加したものの、クラウド移行の進展に伴う増収効果が寄与し、大幅な増益となりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益162億97百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益23億44百万円（同57.1%増）、税引前四半期利益22億39百万円（同72.1%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益14億81百万円（同69.8%増）となりました。

当社グループはITサービス事業の単一セグメントですが、サービス区分別の売上内訳は以下のとおりとなります。

（単位：百万円）

区　分	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）	前年同期比（増減率）
クラウドサービス	8,408	10,664	26.8%
パッケージシステム	4,412	3,688	△16.4%
その他	2,411	1,945	△19.3%
合　計	15,231	16,297	7.0%

クラウドサービス

クラウドソフト『.cシリーズ』をはじめとするサブスクリプション型ソフトの利用料や、自動車補修部品の受発注プラットフォームに係る手数料により構成されています。

パッケージシステム

携帯ショップ、旅行業、バス運行業、機械工具商社、製造業に対応したパッケージソフトの販売代金（リース販売または一括販売）や、パッケージソフトの利用に際して必要な各種サービス料により構成されています。

その他

PC等のハードウェア類やサプライの販売代金により構成されています。

（２）当四半期の財政状態の概況

① 財政状態の分析

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて20億75百万円増加し、434億99百万円となりました。流動資産は56百万円減少の84億８百万円、非流動資産は21億31百万円増加の350億91百万円となりました。流動資産の減少の主な要因は、その他の流動資産が78百万円、営業債権及びその他の債権が33百万円増加したものの、棚卸資産が１億72百万円減少したことによるものであります。非流動資産の増加の主な要因は、無形資産が13億71百万円、有形固定資産が９億14百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて12億91百万円増加し、184億23百万円となりました。流動負債は８億22百万円増加の161億66百万円、非流動負債は４億69百万円増加の22億57百万円となりました。流動負債の増加の主な要因は、その他の流動負債が４億９百万円減少したものの、契約負債が５億83百万円、短期有利子負債が５億６百万円増加したことによるものであります。非流動負債の増加の主な要因は、長期有利子負債が４億74百万円増加したことによるものであります。

（資本）

当第３四半期連結会計期間末における資本は、前連結会計年度末に比べて７億83百万円増加し、250億76百万円となりました。資本の増加の主な要因は、利益剰余金が４億87百万円増加、自己株式が１億38百万円減少、資本剰余金が１億18百万円増加、その他の資本の構成要素が67百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの分析

当第３四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて８百万円増加し、41億29百万円となりました。

当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、47億76百万円（前年同期比18.1%増）となりました。この主な要因は、法人所得税等の支払額４億18百万円があったものの、減価償却費及び償却費26億41百万円、税引前四半期利益の計上22億39百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、31億96百万円（前年同期比4.2%減）となりました。この主な要因は、無形資産の取得による支出33億50百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、16億２百万円（前年同期比59.8%増）となりました。この主な要因は、短期借入金の純増額14億95百万円があったものの、長期借入金の返済による支出14億59百万円、配当金の支払額９億95百万円、リース負債の返済による支出６億21百万円があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

お客様のクラウドソフトへの移行は引き続き進展しており、ストック売上の拡大に伴って利益率が上昇し、利益が拡大する収益構造に変化はありません。一方、連結子会社のSALES GO株式会社における大口契約の失注に加え、セキュリティ強化に伴う導入計画の見直しや、関連費用の増加を踏まえ、当連結会計年度（2026年１月１日～2026年12月31日）の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、期末配当予想につきましては、前回公表の１株当たり４円00銭から変更しておりません。

上記の業績予想は、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,121,331	4,128,862
営業債権及びその他の債権	3,707,689	3,740,743
棚卸資産	325,793	154,250
その他の金融資産	3,000	－
その他の流動資産	306,285	384,303
流動資産合計	8,464,097	8,408,158
非流動資産		
有形固定資産	914,485	1,828,857
のれん	11,167,691	11,167,691
無形資産	18,561,141	19,932,430
持分法で会計処理されている投資	0	－
その他の金融資産	901,490	747,910
その他の非流動資産	141,129	145,947
繰延税金資産	1,274,548	1,268,403
非流動資産合計	32,960,485	35,091,239
資産合計	41,424,583	43,499,397
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,707,875	2,468,337
契約負債	8,389,084	8,972,570
短期有利子負債	3,073,687	3,579,625
未払法人所得税	247,327	628,073
その他の流動負債	926,176	517,386
流動負債合計	15,344,149	16,165,991
非流動負債		
長期有利子負債	1,383,871	1,858,061
退職給付に係る負債	231,517	230,411
引当金	137,090	137,158
その他の非流動負債	35,116	31,458
非流動負債合計	1,787,593	2,257,088
負債合計	17,131,742	18,423,080
資本		
資本金	7,147,905	7,147,905
資本剰余金	7,615,311	7,733,601
自己株式	△2,687,824	△2,549,526
利益剰余金	11,297,136	11,783,998
その他の資本の構成要素	898,625	966,098
親会社の所有者に帰属する持分合計	24,271,153	25,082,076
非支配持分	21,688	△5,758
資本合計	24,292,841	25,076,317
負債及び資本合計	41,424,583	43,499,397

（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

（要約四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上収益	15,230,725	16,296,614
売上原価	△5,373,891	△5,116,951
売上総利益	9,856,834	11,179,662
販売費及び一般管理費	△8,371,970	△8,833,526
その他の営業収益	28,812	31,235
その他の営業費用	△22,047	△33,304
営業利益	1,491,630	2,344,067
金融収益	11,492	14,308
金融費用	△107,189	△119,263
持分法による投資損益（△は損失）	△95,076	－
税引前四半期利益	1,300,857	2,239,112
法人所得税費用	△445,425	△785,125
四半期利益	855,431	1,453,987
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	872,495	1,481,434
非支配持分	△17,064	△27,446
四半期利益	855,431	1,453,987
１株当たり四半期利益		
基本的１株当たり四半期利益（円）	4.86	8.19
希薄化後１株当たり四半期利益（円）	4.74	8.01

（注）当社は、2026年７月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的１株当たり四半期利益及び希薄化後１株当たり四半期利益を算定しております。

（要約四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期利益	855,431	1,453,987
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産の公正価値の純変動	14,771	38,275
純損益に振替えられることのない項目合計	14,771	38,275
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	17,517	29,484
純損益に振替えられる可能性のある項目合計	17,517	29,484
税引後その他の包括利益合計	32,288	67,759
四半期包括利益	887,720	1,521,746
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	904,784	1,549,192
非支配持分	△17,064	△27,446
四半期包括利益	887,720	1,521,746

（３）要約四半期連結持分変動計算書

前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
					その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	新株予約権	譲渡制限付株式
2025年１月１日残高	7,147,905	7,558,945	△2,926,532	10,407,827	957,589	△13,294
四半期利益	－	－	－	872,495	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	－	－
四半期包括利益合計	－	－	－	872,495	－	－
自己株式の取得	－	－	△28	－	－	－
自己株式の処分	－	101,075	238,773	－	△289,482	△56,000
配当	－	－	－	△403,662	－	－
株式報酬取引	－	－	－	33,718	181,093	41,293
支配継続子会社に対する持分変動	－	△44,709	－	－	－	－
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	－	－	2,471	－	－
所有者との取引額合計	－	56,366	238,745	△367,472	△108,389	△14,706
2025年９月30日残高	7,147,905	7,615,311	△2,687,788	10,912,850	849,200	△28,000

（単位：千円）

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産の公正価値の純変動	合計			
2025年１月１日残高	△47,732	56,814	953,378	23,141,522	1,870	23,143,393
四半期利益	－	－	－	872,495	△17,064	855,431
その他の包括利益	17,517	14,771	32,288	32,288	－	32,288
四半期包括利益合計	17,517	14,771	32,288	904,784	△17,064	887,720
自己株式の取得	－	－	－	△28	－	△28
自己株式の処分	－	－	△345,482	△5,635	－	△5,635
配当	－	－	－	△403,662	－	△403,662
株式報酬取引	－	－	222,387	256,105	－	256,105
支配継続子会社に対する持分変動	－	－	－	△44,709	44,709	－
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	△2,471	△2,471	－	－	－
所有者との取引額合計	－	△2,471	△125,567	△197,929	44,709	△153,219
2025年９月30日残高	△30,215	69,114	860,099	23,848,377	29,516	23,877,893

当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
					その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	新株予約権	譲渡制限付株式
2026年１月１日残高	7,147,905	7,615,311	△2,687,824	11,297,136	876,261	△14,000
四半期利益	－	－	－	1,481,434	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	－	－
四半期包括利益合計	－	－	－	1,481,434	－	－
自己株式の処分	－	118,290	138,298	－	△200,588	△56,000
配当	－	－	－	△994,770	－	－
株式報酬取引	－	－	－	198	214,302	42,000
所有者との取引額合計	－	118,290	138,298	△994,571	13,714	△14,000
2026年９月30日残高	7,147,905	7,733,601	△2,549,526	11,783,998	889,975	△28,000

（単位：千円）

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産の公正価値の純変動	合計			
2026年１月１日残高	△29,484	65,848	898,625	24,271,153	21,688	24,292,841
四半期利益	－	－	－	1,481,434	△27,446	1,453,987
その他の包括利益	29,484	38,275	67,759	67,759	－	67,759
四半期包括利益合計	29,484	38,275	67,759	1,549,192	△27,446	1,521,746
自己株式の処分	－	－	△256,588	－	－	－
配当	－	－	－	△994,770	－	△994,770
株式報酬取引	－	－	256,302	256,500	－	256,500
所有者との取引額合計	－	－	△286	△738,269	－	△738,269
2026年９月30日残高	－	104,123	966,098	25,082,076	△5,758	25,076,317

（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,300,857	2,239,112
減価償却費及び償却費	2,432,568	2,640,720
株式報酬費用	229,693	214,592
金融収益及び金融費用（△は益）	95,697	104,955
持分法による投資損益（△は益）	95,076	－
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△364,240	△33,085
棚卸資産の増減額（△は増加）	△96,377	171,543
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△168,547	△288,397
前払費用の増減額（△は増加）	△10,249	△79,373
長期前払費用の増減額（△は増加）	55,386	22,287
未払従業員賞与の増減額（△は減少）	△278,718	△358,640
契約負債の増減額（△は減少）	1,187,036	583,486
未払消費税等の増減額（△は減少）	△94,232	△63,544
その他	11,408	70,650
小計	4,395,358	5,224,308
利息の受取額	4,450	9,781
配当金の受取額	3,098	3,872
利息の支払額	△32,346	△44,299
法人所得税等の支払額又は還付額（△は支払）	△325,985	△417,646
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,044,575	4,776,016
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,326	△9,036
有形固定資産の売却による収入	641	－
無形資産の取得による支出	△3,358,947	△3,349,817
投資の売却及び償還による収入	11,600	－
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	12,210	－
貸付けによる支出	△3,000	△9,207
貸付金の回収による収入	6,899	8,154
敷金及び保証金の差入による支出	△3,404	△9,662
敷金及び保証金の回収による収入	2,578	1,138
投資事業組合からの分配による収入	7,920	172,110
その他	△261	378
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,337,090	△3,195,942

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,287,000	1,495,000
長期借入れによる収入	496,500	－
長期借入金の返済による支出	△1,739,422	△1,458,566
リース負債の返済による支出	△639,397	△621,166
配当金の支払額	△403,662	△994,770
自己株式の取得による支出	△28	－
コミットメントライン関連費用	△3,645	△22,656
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,002,654	△1,602,157
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	19,314	29,614
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△275,856	7,531
現金及び現金同等物の期首残高	4,305,936	4,121,331
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,030,080	4,128,862

（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループはITサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。